

令和4年度第2回 嘉飯圏域定住自立圏共生ビジョン検討会議 議事録

■ 日時：令和4年12月20日（火）午前10時から 場所：飯塚市役所本庁2階 多目的ホール

■ 出席委員：13名（6名欠席）

飯島委員、澁田委員、村上委員、藤川委員、香月委員、大田委員、浅田委員、實藤委員、高石委員、佐竹委員、皆越委員、野上委員、和田委員

1 開会（進行：飯塚市 総合政策課長補佐）

2 議事（進行：澁田会長）

（1）第2次嘉飯圏域定住自立圏共生ビジョン（素案）に関する住民意見募集の結果について

【説明】事務局（飯塚市 総合政策課長）より説明。

（ 質疑なし ）

（2）第2次嘉飯圏域定住自立圏共生ビジョン（最終案）について

【説明】事務局（飯塚市 総合政策課長）より説明。

【質疑応答の概要】

○委員

私の家庭では子どもが皆、大学などの関係でいずれも関東に就職しています。地元就職先として魅力的な企業がないと感じますが、そういった面で、何か具体的な動きはあるのでしょうか。

○事務局

飯塚市の場合は、ゆめタウンが来年オープンするほか、沢井製菓の工場も開業する予定になっています。このように、企業誘致については担当課において積極的に取り組んでいるところです。

（3）その他

【委員からの意見等の概要】

○委員

飯塚市から委託を受けて「穎田子育て支援センター」を運営しています。妊婦さんが集まる講座の中で、参加者から「飯塚市には『陣痛タクシー』がなくて、ちょっと不安で困る」という話がありました。他の地域では実施されていて、妊婦さんが登録をしておくことで検診や出産のときにタクシーに迎えに来てもらえるというのだそうです。そのようなものがあれば、子育てをするお母さんが不安がらずに出産を迎えられると思います。共生ビジョンのことからは離れてしまっていますが、いろいろな機会をとらえて話をすれば、何か知恵や情報を頂けることもあるのではないかと思います、意見を出させてもらいました。

○事務局

現在、この圏域ではそのようなサービスは実施されていませんが、ご意見については子育ての担当課に伝えたいと思います。

○委員

医療についての意見です。人口減少に伴って、患者さんの数も減りますから、開業医の数も減っていくと思われます。共生ビジョンでは主に救急医療について記載されていますが、将来的に通常の医療体制の維持が問題になってきます。現在は「医療体制が充実しています」と言われていても、先細りが予測されます。第3次以降の共生ビジョン策定にあたっては、どこまで行政が関与できるのかという問題はありますが、この点を考慮したほうがよいと考えます。

○事務局

今後、そのような状況が見えてきた場合は、共生ビジョンに盛り込んでいく必要があると考えます。医師会とも協議が必要な案件ですが、第3次共生ビジョン策定時には所管課と調整のうえ、検討したいと思います。

○委員

医療や子育てなどの各分野について、共生ビジョンの文章だけで全体の状況を把握するのは難しいと思いますので、圏域内で連携している施設等の位置を地図上で示す連携マップのようなものを作成してはどうでしょうか。そうすれば、第3次・第4次の共生ビジョンを策定する際も、それまでの連携状況の変化を視覚的に把握できますし、住民にとってもわかりやすいので活用してもらえるのではないかと思います。

○事務局

そういうものができれば、住民にとってもわかりやすいものになると考えられます。内容や作成の手法などについて、いろいろ検討してみたいと思います。

○委員

例えば「図書館の相互利用」という連携事業の関係ですが、各市町にある読み聞かせ団体が個々に活動しているものの、小さな規模での活動にとどまっていたり、活動がマンネリ化する傾向にあります。同様の活動をしている他の団体と情報を共有できる機会を設けていただいたり、一緒にイベントを実施したりすることで、活性化できることがあると思います。スポーツの分野でも似たような状況ではないでしょうか。同じ分野で活動している圏域の関係者や団体が触れ合えるようなイベント等の機会を、行政においてもっと創出していただきたいと思います。

○事務局

毎年、各作業部会で事業実績を確認したり協議したりする場があるので、その際に今のご意見を伝えたいと思います。

3 閉会（飯塚市 行政経営部長挨拶）